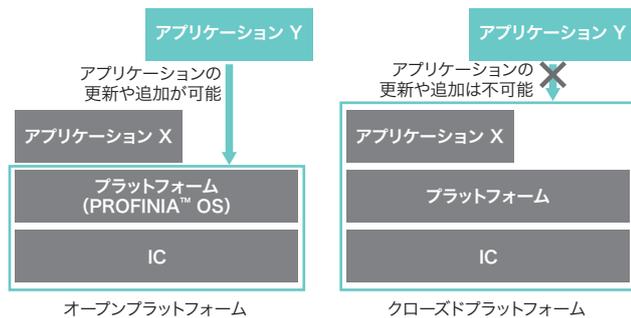


PROFINIA™ OSのEMVCoオープンプラットフォーム認定取得



決済向けICカードPROFINIA™ F404
PROFINIA™ F404 smart payment card compliant with EMV security standard



オープンプラットフォームとクローズドプラットフォームの違い
Differences between open and closed platforms when updating and adding applications

モバイルやIoT (Internet of Things) 分野などで使用されるICチップでは、市場投入後にセキュリティ更新やサービス追加が求められている。また、決済分野では、高いセキュリティと複数の決済アプリケーションに対する相互運用性が要求されている。

このような市場要求に対して、今回PROFINIA™ OS (基本ソフトウェア)を開発し、最初のアプリケーションとして決済向けICカードに適用した。PROFINIA™ OSは、EMVCo^(注)のセキュリティ要件を満たしたオープンプラットフォーム認定を、東芝グループで初めて取得した。そのセキュリティ要件では、ファイアウォールによるアプリケーションデータの機密性や整合性の保護などが求められている。オープンプラットフォーム認定を取得すると、プラットフォーム製品としてアプリケーションの更新や追加のセキュリティレベルが保証されるため、市場投入後に顧客がアプリケーションの更新や追加をすることも可能である。

今後、決済分野だけでなく、モバイルやIoT分野向けの製品にも、開発したOSを応用していく。

(注) 国際ブランドである American Express, Discover, JCB, MasterCard, 銀聯 (ぎんれん)、及び Visa の 6 社で構成される技術機関。

東芝インフラシステムズ (株)

指紋認証ICカード“BISCADE™カード”のセキュリティシステムへの採用



指紋認証ICカード BISCADÉ™カード
BISCADÉ™ Card smart card with on-card fingerprint authentication

近年、インターネットの普及に伴って、セキュリティの重要度が増している。このような状況を踏まえて、今回、指紋認証ICカード“BISCADÉ™カード”を開発し、(株)ローレルインテリジェントシステムズのセキュリティシステム“FSS SmartLogon TFPA”に採用されたことを受けて、このカードの出荷を開始した。

BISCADÉ™カードは、事前に本人の指紋情報をカードに登録し、カードの指紋センサーに触れることで、本人確認ができる。既存のICカードリーダーを利用できるほか、カード内で指紋を照合するため、指紋認証サーバーを必要としない。ICカードの所有認証と指紋照合による生体認証が1枚のカードで実現できることから、より利便性の高い厳格なユーザー認証を提供できる。

今後、指紋認証に対応した非接触ICカードやクレジットカードなどの製品開発を通じて、ICカードの利用拡大に貢献していく。

東芝インフラシステムズ (株)